

解散総選挙より、先ずは景気対策を！

TOKYO FM緊急アンケート企画「モバイル・ジャッジ」

8割が早急の景気対策実行を麻生政権に要望

TOKYO FMでは、米国株価の急落、世界景気の後退懸念の広がりを受けて、麻生政権の動きに対する緊急アンケートを、朝から夕方の番組を横断して実施しました。アンケート結果から、TOKYO FMの主なリスナー層である20代～30代若者たちの政権に対する要望が明らかになりました。

今回問いかけた質問は、

世界同時株安の混乱の中、麻生総理が

「国民の関心は衆議院の解散より景気対策」と発言。あなたは・・・？

【集計結果】

① 麻生総理の言った通り、なんと言っても景気対策！

解散総選挙はその後で！ 82%

② 先ずは解散総選挙！景気対策は新しい政府が打ち出すべき！ 17%

【主な意見】

<①先ず、景気対策！解散総選挙はその後で>

- ・いま解散総選挙をしたいなんて、混乱に乗じた何かを狙っているんじゃないかと思えない。1秒でも早い景気対策が必要。
(31歳男性)
- ・これだけ問題が山積みの中なぜあれだけマスコミが解散をあおるのか意味がよくわからない。政治的空白をどれだけ作れば気がすむのか。このタイミングでしかできないことがあるはず。(28歳女性)
- ・百年に一度の経済危機が世界中で起きている状況で、最も影響の少ない経済大国日本がこの時期に一ヶ月も政治空白を作るとは国際的に考えても許されない。民主党は経済素人の集まりにしか思えない。今の時点で日本に政権交代が起きることは世界経済に混乱を招くだけだと思う。(30歳男性)
- ・この未曾有の金融危機を前に、景気対策を優先するのは当然です。麻生内閣の補正予算第二弾も期待しています。(34歳女性)

- ・大学生ですが、ゼミでもこの問題を議論しています。しかし、民主党支持の人でさえも解散には反対している数が圧倒的に多いです。日本に出来る事は少ないかもしれませんが、過去の経験を生かし、今こそ世界をリードすべきだと思います。(21 歳男性)
- ・生活に直結しているから。解散総選挙は、今すぐしなければならないものではないと思う。(20 歳女性)
- ・全世界が混乱している最中です。緊急の経済対策、次いで第二次景気対策。選挙なんて経済・景気が持ち直した後でやればいい、与野党力を合わせて国民のために働いてほしい。(31 歳男性)
- ・こんな世界情勢の時に政治に空白ができるなんて、考えただけで恐ろしいです。しばらくは集中して金融・景気に取り込み続けなければ、油断すると日本にだって多大な損失が発生してしまいます。とにかく金融危機が安定するまでは、決して空白を作ってはならないと考えます。(26 歳女性)
- ・民主党は解散に焦ってロクに審議もしないありさま。まさに「国民より政局」がにじみ出ている。(31 歳女性)
- ・小さい規模ですが自分で商売をしているものです。ただでさえ福田総理の辞任でもともと予定していた景気対策が遅くなっています。この上解散総選挙で先延ばしされては多くの商売にとって大切な 12 月の商戦に間に合いません。一刻も早く実効力のある政策を打ち出すべきです。(30 歳男性)

<②まず、解散総選挙！景気対策は新しい政府が打ち出すべき！>

- ・いろんな意味でチェンジして欲しい。一度、民主党に政権を取ってほしい。将来が見えません。(32 歳男性)
- ・世界同時株安のなか日本は円高に。こんな時だからこそ、解散して内部構造を改革すればより評価されるのではないかと思う。(39 歳男性)
- ・基本的には景気対策優先ですが、今までと同じ体制では何も変えられません。景気対策を実行出来る地盤を作って臨まないと、時間の無駄になってしまいます。(28 歳男性)
- ・選挙をやって、今現在の民間の厳しさ窮状を議員達が聞いた上で、対策に活かしてほしいのですぐ解散すべきだと思います(33 歳男性)

※アンケート参加者数 274人

TOKYO FMの「MOBILE JUDGE」サイト(以下ページを下方にスクロール)

<http://www.tfm.co.jp/news/>

※ 本アンケート結果を引用の場合は「TOKYO FM リスナー調査」のクレジット入りをお願いいたします。